



明治大学校友会 市川地域支部報

まつかぜ

第4号
2008
春

発行:明治大学校友会千葉県西部支部市川地域支部 272-0835 市川市中国分4-13-12 発行人:行木勝雄

会員の増加も着々と第3回総会開く

市川地域支部の第3回総会は平成19年5月20日、市川グランドホテルで52名が出席して開かれました。会は伊与久副支部長の司会で進められ、まず長井幹事長が開会を宣言し行木支部長があいさつをのべました。続いて来賓として出席した校友会本部前川副会長および我孫子、柏



コーラスは心のふるさと



デュオのメロデーが流れ



学部別紹介

船橋、松戸の代表者が紹介され、前川副会長から祝辞をいただきました。その中で志願者が飛躍的に増えたこと、10番目の学部としてスポーツ関連の学部が設けられたことを明らかにしました。
引続いて行木支部長が議長となり、18年度の事業報告、同収支決算、同監査報告、19年度事業計画と収支予算がそれぞれの責任者より説明があり、協議の後承認されました。また選任では山田憲典氏(やまだけんすけ、昭和35年法卒、山崎製パン副社長、不二家会長)を顧問に、高梨政夫(昭和40年商卒)、滝口利子(昭和55年商卒)の各氏を幹事とすることが決まりました。
18年度中の新入会員は25人でしたが、そのうち10名の方が参加し、それぞれ自己紹介があり拍手で歓迎されたのち大越幹事が閉会を宣しました。引きつづき、マンドリンの山室さん、ピアノの藤田さんが夏の思い出などを演奏して懇親会に移りました。
出席者中最年長の鈴木準二(昭和28年商卒)氏が乾杯の音頭を取りました。宴の中盤、各出身学部別の自己紹介がありました。フィナーレには恒例のコーラス「市川童謡の会」(代表阿部監査委員)が山路八郎先生の指揮で全員合唱をし、日下幹事のリーディングにより校歌とエールの後、高橋幹事のことばによって閉会しました。

二つの世界遺産の地での「紫紺の集い」

日本三景の安芸の宮島は、厳島神社として、世界遺産にも登録され歴史的、文化的にも高く評価されています。第43回全国校友大会は、平成19年11月4日、この風光明媚な広島県で、全国各地から1300名の校友が参加し開催されました。



水戸川大会実行委員長から、武田孟、佐々木吾郎、斉藤正直と3名の学長、総長を輩出し、明治大学とは大変縁りの深い広島県へようこそ、と歓迎のあいさつがあり、続いて青木校友会長、村山校友会名誉会長のあいさつの後に、大学から、長吉理事長、納谷学長が祝辞を述べ、来賓の秋葉広島市長が、世界で唯一の被爆地として、原爆ドーム、が世界遺

産に登録されたことについて話され、核兵器廃絶と世界平和を力強く訴えました。

記念イベントでは、広島県の伝統芸能でもある八岐大蛇（やまたのおろち）の神楽が披露され、さらに校友（昭和44年経営卒）でもある、落語芸術協会副会長の三遊亭小遊三師匠の講演では、会場に爆笑の渦がわきました。広島県の名物料理と銘酒で盛大に懇親会が行われ、最後に全員で明治大学校歌を斉唱し大会は閉会しました。

新装なった紫紺館では初の 千葉県西部支部総会ひらく

走り梅雨の平成19年6月10日、新しく駿台名物となった紫紺館で約120名の西部地区の校友が集い第4回定期総会と懇親会が開催されました。

司会はこのほど当支部の伊神会計監査と交代した伊与久美子氏が担当、柏支部の猪瀬支部長が開会を宣し、三宅支部長があいさつに立ちました。この中で、紫紺館の落成を喜ぶと共に西部地区には1万6千人の校友が居るのでその力を結集し活動を盛にし、母校への一層の支援に加えて校友会広島大会へ向けての参加を呼びかけました。

議事は定例の18年度の事業報告と収支決算、19年度の事業計画と収支予算について審議決定されました。

つづいて、新たに流山地域支部設立が承認され小疇（こあぜ）尚支部長と広井武昭幹事長が紹介され温い拍手が贈られました。また母校教育振興協力資金についての経過報告があり、なお一層の協力の要請がありました。

来賓として出席された教務理事森宮教授（商学部）は、このほど来日したアブドゥラ・ラーマンレーシア首相に名誉博士号を授与したことのほか考古博でのガウランド展など文化行事の紹介をされました。つづいて理工学部長向殿教授は、大阪、広島など地方での受験機会をふやしたことや教育方針にふれました。最後に校友会前川副会長は明大校友会の結束ぶりや人材の豊富さ、また全国大会を43回も開催しているのは全大中学本学がトップであることなどにふれました。懇親会では夕暮がせまるまで歓談や応援団チアリーダー部のパフォーマンスを楽しみ、校歌を斉唱して幕を閉じました。

なお、平成20年の全国校友大会は九月十四日秋田市で開催の予定です。

秋のマンクラ演奏会へ

青信号！

会員などから要望の強い母校マンドリンクラブ演奏会を市川で、との願いを実現することが決まりました。平成20年10月11日（土）にチャリティーコンサートとして実施し、収入の一部

を市の福祉事業へ寄付するというものです。会場は市川文化会館大ホールで行い、協賛出演として市内にある国府台女子学院マンドリンクラブも参加する事になっています。

このため行木支部長を委員長とする実行委員会が発足し、すでにポスターやリーフレット、そして演奏会用パンフレットの制作などが進んでいます。また入場券の販売についてもさまざま方法で行われる予定で、会員の皆さんの成功へのお力ぞえが望まれます。

「大学」参加第1号！

市民まつり

マンクラ演奏をPR

市民まつりのオープニングセレモニーが終ったのち、千葉市長は、各テント巡回の時、初めて参加した当支部にも訪れ、にこやかにマンドリンクラブ公演のリーフレットを受取って、興味深く説明にうなずかれました。

10月3日大洲防災公園で開かれる「市民まつり」へ参加するということが決まってから、小菅、伊与久（美）、

斉藤、芹川、高桑、阿部（千）、山川、佐川の皆さんは大車輪で参加申込手続、のぼり、配布パンフの調達などに走りまわり、この日を迎えたのでした。

明治ののぼりやマンクラのリーフレットには多くの市民が関心を示し、「10年前に行ったけど、市川に来るんだったら行かなくては」など、なつかしく親しみあふれる話が多く、前評判は上々との感じでした。

また、校友会の存在を知ったという方には入会申し込み書をお渡ししましたが、大学そのものについては高校生層が少なかったせいかパンフのだけはイマイチでした。

スタッフの皆さんは来年もいろいろ趣向をこらして参加してみたいとの感じを強くし、「学校関係参加ナンバーワン」の金字塔を輝かせたイベント参加となりました。



準硬式野球の誘惑

佐川 清(昭和33年経営卒)

私は昭和十年生まれで今年七十二歳となりましたが、子供の頃から野球が好きで毎日バットとグローブを離さず野球をやっており高校卒業迄野球漬けで過ごし高校の担任の先生からは大学になんか入れるかと言われるような始末でした。しかし何とか昭和二十九年に経営学部に入學しこれからは真面目に勉強するかと思つて生田(当時の経営学部は一、二年は生田校舎でした)に通いだしたのです。ところがなんと準硬式野球部の練習グラウンドが生田にあり、休憩時間等に練習を観ているうちに私にも出来そうだなと思うと同時に、野球の虫が騒ぎ出しました。そして入学の時の志とは違う準硬式野球部へ入部してしまい、その後は高校のときと同じ野球漬けの毎日となつてしまいました。

わたしのポジションは捕手でしたが練習で一番きついのは捕手で先ずバツティングキャッチャーです。終るとブルペンで投手のボールを受けるというきついものでしたが、好きな野球ですからきついけど楽しい毎日でした。

そのようにして練習を重ね、春のリーグ戦は今は無くなつていますが新宿の十二社にあった東京生命のグラウンドで行われました。夏の合宿は福島県の白河球場で、秋のリーグ戦と一年はあつたという間に過ぎましたが本当に野球、野球の毎日でした。

準硬式のレベルは結構高く甲子園出

場者も三人ほど居ましたが、私は捕手でしたのでブルペンキャッチャーとして一年生からベンチ入りができ、その点ラッキーでした。また関西大学との定期戦(駒沢球場)の新人戦にも出られ、それが唯一の公式の実績ですが試合は投手戦(貧打戦)となり0対0の引分けでした。

その時私とバッテリーを組んだ投手は卒業後東映フライヤーズに入った岡田君でした。その様にして二年の初めまで在部したのですがその間は数えるほどしか授業に出られなかったので学業の結果は推して知るべし惨たんたるもので十六単位しかとれませんでした。駿河台キャンパスに進めるか心配になってきたのと、肩を壊し野球を続ける自信も無くなったので退部を決意し、一念発起しいささか勉強をし、何んとか追試も受けずに(当時仲間に随分不思議がられました)駿河台へ行くことが出来ました。

しかし、最後まで野球を続けることが出来なかったのは残念ですが毎日野球を夢中で追いかけて過ごした一年数か月は、私にとって大変懐かしく、また貴重な思い出として残っています。

会計士を目ざした四年間

堀越伸一(平成3年商卒)

私の大学生時代は勉強ばかりでした。「将来は公認会計士か税理士になりたいなあ」と漠然と考え、明治大学商学部に入學しました。なぜ、このような職業にあこがれたかという、親の知り合いに税理士さんがおり、何となく良さそうな暮らしをしていたからです。

また、当時なぜ明治大学を選んだかという、比較的多くの公認会計士を輩出していたからです。

昭和62年4月に入學しましたが、和泉校舎に行つて、学生の勉強のヤル気のなさを見てビックリしました。今にして思えば、当時はバブル真つ只中。大学はレジャーランドと化し、「大学生はサークル・遊び・バイト」という式が成立していた頃の話です。国家試験を目指してコツコツ地味に勉強する人は少数派でした。

学生は勉強するものだと思つていた私は、チャラチャラ遊んでばかりいる学生と付き合うのが嫌でした。「堀越は図書館で簿記の勉強をしていたぞ。よくやるよなあ。」なんて揶揄されることもありました。彼らの目には遊ばない私が奇異に映つたのでしよう。それでも、試験前になると私のところへ来て、ノートを見せてくれたの、コピーをとらせてくれたの、お願いするのだから、チャラカリしているというか、世渡り上手というか……

3年生になり、駿河台校舎に通うようになると、私は大学と受験専門学校を掛け持ちするようになり、忙しくなりました。周囲もゼミや就職活動準備に入ったせい、あまり遊んでいない人はいなくなりました。というよりただ単に授業に出てこなくなつたせいかもしれません。

この頃、経理研究所の特別会計研究室に入ろうと思つて入室試験を数回受けましたが、落ちました。特別会計研究室とは、公認会計士試験に合格するための訓練所です。現在アカデミー

コモンが建っている敷地に、以前大学院があり、大学院の地下1階に特別会計研究室がありました。

3度目に落ちた時、面接の先生に「この試験(公認会計士試験)は落ちたら何も残らない。大学を出て試験に落ちた人は就職なんかできないよ。」と言われ、ショックを受け、自分のバカさ加減に嫌気が差しました。もうやめようか、とも思いましたが、自分は職業会計人になるんだ、という当初の決意を思い出し、奮起しました。

くじけず勉強し、やつとの思いで4年生の時に特別会計研究室に入室することができました。入室してからは、大学の授業と専門学校に行く以外は、朝から晩まで研究室に閉じこもり、家には寝に帰るだけで、ひたすら合格を目指して勉強していました。受験仲間ができて、休憩時間に話をしたり、一緒に食事をするのが唯一の楽しみとなりました。

そして、その年(平成2年)の夏に初めて公認会計士試験を受験しましたが、結果は不合格。私は成績の良い方ではなかったため、当たり前前の結果でした。そんな簡単に受かるわけがありません。世の中そんなに甘くないということを思い知らされました。

4年で落ちてどうするか、といつても就職活動など全くしていなかった私は、両親の承諾を得て、特別会計研究室に残り、次の年も公認会計士試験にチャレンジすることにしました。しかし、来年本当に合格できる保証はどこにも無く、目の前は真つ暗でした。就職が内定した同級生たちからは

「まだ勉強しているのか。よくやるねえ。ま、頑張つてね。」と冷笑されました。そう言われた私はとても悔しく、彼らと顔を合わせたくなかったので、卒業式には出席しませんでした。

結局、私の大学生時代は、遊びもなく、恋もなく、特に楽しい思い出もなく、ナイナイ尽くしの4年間でした。

地道な勉強が実を結んだのは、卒業してから5年後でした。

振り返って、もし大学生時代の勉強がなかったならば、公認会計士試験に受かることはなかったでしょうから、私にとって大学生時代は下積み生活だったのだと思います。

母校の教育振興協力資金募 金活動継続に是非お力を

お手元に校友会からのお願いとして明治大学教育振興協力資金への協力についてのお知らせが送付されていることと思います。2006年が、校友会創設120年に当たり、記念事業の一環として、校友会館を神田小川町、旧小川町校舎跡地に建設することが決まり、これを支援するために2004年10月1日から、その資金の一部として、10億円を目標に募金活動を行ってきました。その間、皆様には募金にご尽力をいただき、ありがとうございます。

募金を開始より満3年を迎えましたが、目標額には遠く及ばないため、10億円達成を目指して募金運動を続行することになりました。

募金達成額は、平成19年11月末

現在で総額6億2千38万1千658円、達成率61.85%です。うち千葉県西部支部は3千8百39万2千29円で達成率71.10%です。現在西部支部の募金目標額は5千4百万円となっています。校友会館は、完成して紫紺館と命名され、私たちも利用しています。

その紫紺館は、一階には喫茶室、カフェ・フォレスト、五階には、誰とでも利用できるレストラン椿山荘、六階には、バー・ラウンジ明治が入っています。

以上の趣旨をご理解いただき、これから一人でも多くの校友に、募金達成のためご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、振込取扱票の所属校友会支部欄に必ず市川地域支部とご記入ください。

ゴルフ同好会

平成19年度のゴルフ同好会は28名の会員で活動、3回のゴルフコンペと新年会を行いました。コンペの成績は次の通り。

【第4回】平成19年4月20日

成田東カントリークラブ(参加10名)

優勝 中村欣治

2位 鶴岡正雄

3位 高桑謙二郎

ベスグロ 中村欣治 87

【第5回】平成19年7月20日

水戸ゴルフクラブ(参加15名)

優勝 中村欣治

2位 大越信夫

3位 齋藤英夫
ベスグロ 中村欣治 86

【第6回】平成19年11月2日
小御門カントリークラブ(参加14名)

優勝 高橋一郎

2位 鈴木宣男

3位 鶴岡正雄
ベスグロ 平野博 82



<写真>水戸ゴルフクラブにて

【新年会】平成20年1月28日

上喜源に於いて(参加17名)

新役員の選出

会長 月館光治

副会長 地引一則

幹事 山川藤夫

幹事 高橋一郎

平成20年度も3回のコンペを予定しています。

【第7回】平成20年4月18日(金)

千葉国際カントリークラブ・竹コース

【第8回】平成20年7月18日(金)予定

【第9回】平成20年11月予定

入会を希望の方は幹事までご連絡ください。

カラオケ同好会

第七回の例会が忘年会をかねて十二月十六日(日)にスナック京で催されました。

会員数23名中最高の18名が参加しました。競技方法は前回好評だったので、同じ紅白歌合戦方式としました。

皆さんの努力の賜物か、前回よりもレベルアップされ、皆高得点を出し、結果は一点差で紅組の勝利となりましたが、大変な接戦でした。

その後、ビンゴゲームを楽しみ、自由歌つて最後に校歌を斉唱し散会しました。

(カラオケ同好会の例会はこの他数回行われていますが、編集の都合により割合いたしました)

ハイキング同好会

七月二十一日に八名の参加者が葛西臨海公園と水族館を訪れました。

ぱーぶるばるーん

顧問に就任いただいた山田憲典氏は、アカデミーコモンのオープン講座で、五月二十日午後七時から食品業界に関する講演を行います。

また印南博之会員は同春季講座で「ヨーロッパ紋章物語」を六回講じます。詳細はリバティアカデミー事務室

03 3296-4423まで。